

サステナビリティ推進体制

オカムラグループでは、サステナビリティの取り組みを有効的に進めるためサステナビリティ委員会を設置しています。

サステナビリティ委員会、 全社横断プロジェクト等の役割

代表取締役を委員長とし、各事業本部およびコーポレート部門を統括する執行役員により構成されるサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会では、重要課題に関する年度計画に基づき、オカムラグループ全体の取り組みを推進・サポートし、進捗をモニタリングするとともに、対応方針の立案と関連部署への展開を行っています。また、気候変動リスクを含むオカムラグループのリスク全般について、経営・財務等への影響を考慮し現状リスクの再評価および新規リスクの抽出・評

価を行うとともに、重要リスクの特定と見直しを行っています。同委員会は年2回定期開催しており、審議・決議事項および活動結果について取締役会に報告し、取締役会において当該報告内容に関する管理・監督を行っています。

サステナビリティ推進部はサステナビリティ委員会の事務局として委員会の運営を行うとともに、承認事項について社内の各組織を通じて事業活動へ展開し、定期的にフォローを行っています。

また、全社横断のサステナビリティ推進プロジェクトにおいて、各事業本部の推進フォローおよび従業員への活動の浸透を図っています。(詳細 ▶ P.114~115)

2022年7月には男性育児休職の取得状況および今後の取り組みについて、また2022年9月には統合報告書作成に向けての体制について共有しました。

2022年度に実施した委員会等の内容

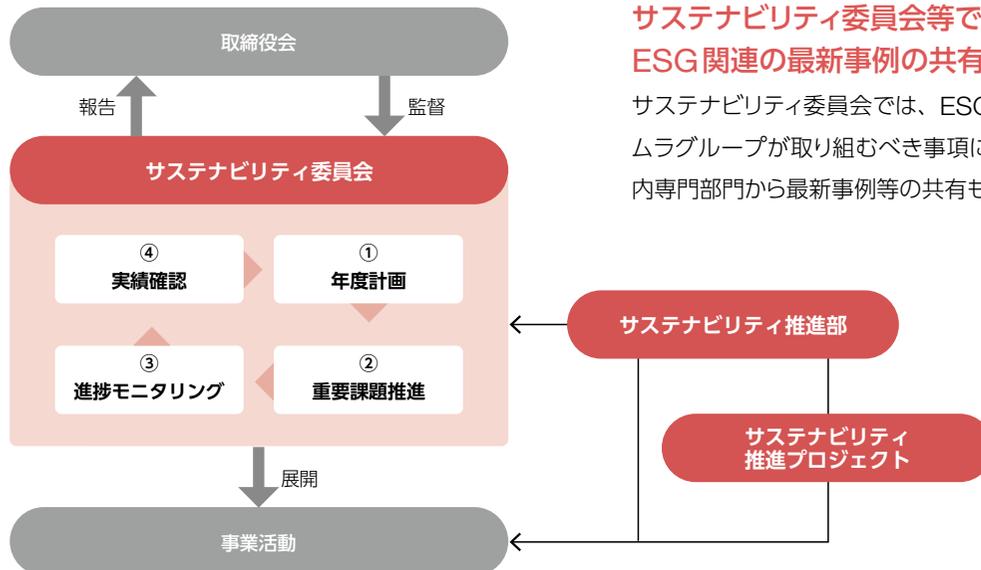
2022年 7月 男性育児休職について

2022年 9月 統合報告書作成について
重点対応リスクについて

2022年12月 ESG 社外評価結果について

2023年 3月 人権対応について

社会貢献活動について



サステナビリティ委員会等で ESG 関連の最新事例の共有

サステナビリティ委員会では、ESGに関する最新情報やオカムラグループが取り組むべき事項について、社外有識者や社内専門部門から最新事例等の共有も行っています。

従業員巻き込み施策の展開

より積極的にサステナビリティ活動に取り組む従業員の育成に向けて、さまざまな施策を実施しています。

2022年度に実施した施策の内容

- サステナビリティ活動表彰 (詳細 ▶ P.68)
- 従業員の意識や行動を把握するためのアンケート
- 手挙げ式研修・イベント
(詳細 ▶ P.22~23 ▶ P.64 ▶ P.86)
- サステナビリティに関するメール配信 (月1回)

バリューチェーン全体のリスク（機会・脅威）の把握

オカムラグループでは、バリューチェーンの各段階における、「解決すべき社会課題」「事業活動におけるリスク（機会・脅威）」を把握し、サステナビリティ委員会の運営に反映させています。

（詳細 ▶ P.114～115）

バリューチェーン	開発	調達・製造	物流	コンサルティング・販売・サービス	廃棄・リサイクル	
社会課題と リスク（機会・脅威）	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究・企画開発 ● マーケティング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調達先選定 ● 原材料・部品・製品調達 ● 設備維持・メンテナンス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造 ● 品質管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流センター管理、運営 ● 出荷・輸送 ● 納品 ● 輸出 	<ul style="list-style-type: none"> ● お客様のニーズ把握と提案 ● 製品販売 ● ショールーム、ラボオフィス、共創空間等の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用済み製品の回収、リサイクル ● 適正な廃棄物処理
社会課題	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動 生物多様性の喪失と生態系の崩壊 廃棄物処理・資源枯渇 労働力人口減少 サイバー攻撃などのITリスク 脅威的な感染症の増加 					
好ましいリスク（機会） かつ 好ましくないリスク（脅威）	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環型社会への移行* 経済環境の変化* 株主構成の変化* ガバナンス* 信用* 資材・原料調達* 商品・サービスの品質* 業務プロセス設計* 人材* 労務* 					
好ましくないリスク（脅威）	<ul style="list-style-type: none"> 大規模自然災害 気候変動 感染症の蔓延 事故・人為的な災害 法律・規制の遵守 情報セキュリティ 安全衛生 人権 					

*印は機会と脅威の両面の影響を及ぼすリスク